



わたしの聖戦

女性が働くということ

192

医学ジャーナリスト・医学博士 植田美津恵

コスプレは最高のストレス解消法

コスプレとは、コスチ
ューム・プレイングの略。
衣装で遊び、衣装を遊
ぶ、といった意味だと思
うが、ハロウィーンの時
期に繰り広げられる阿鼻
叫喚ぶりをみると、その
楽しさがうかがい知れる。

アニメのキャラクター
などの人物と同じ服装や
髪形にし、メイクも身の
こなしも似せてしまえば、
本当にそのキャラになっ
た気がする。あこがれの
キャラに自分を重ねた途
端、まるで自分ではない
ような気分になり、キャ
ラ同様に振る舞うことが
できる……。こんな手軽
な変身法は試してみなけ
れば損だと思う。
このコスプレがとてつ

もなくストレス解消に効
くのだという。

日常から離れて非日常
の世界を垣間見るような
楽しさ。自分が自分でな
くなつたかに思える爽快
感。しがらみから解放放
たれた解放感。そして何
より皆から注目されるの
が気分良い。カメラを向
けられれば、思わずポー
ズを取ってしまう。そこ
には一瞬とはいえ、スタ
ーになったような錯覚が
あるのかもしれない。

コスプレの歴史は古い。
かつて江戸時代には、花
魁（おいらん）と呼ばれ
る遊女がいた。花魁が新
造や禿（かむろ）などを
従えて指名をした客を迎
えに行く時、高下駄を履

いてしずしずと練り歩く
様は「花魁道中」と呼ば
れ、遊郭の一大イベント
でもあった。新造や禿と
は、幼い見習いの花魁の
こと。テレビドラマで目
にしたこともあるかと思
うが、それはそれは豪華
絢爛の見世物であった。
この花魁こそ、いわばコ



スプレの発祥だという人
もある。

気分転換にウィッグ
（かつら）をかぶるのも、
普段着ないような派手な
服を着るのも、広義の意
味ではコスプレなのかも
しれない。

先日、新聞の身の上相
談で、夫に女装趣味があ

るのを知った妻の悩みが
紹介されていた。相談し
た妻は、偶然そのことを
知ったようで、混乱と驚
きと嫌悪の入り混じった
相談内容になっていった。
誰がどんな回答をしたか
は忘れてしまったが、も
しわたしが回答者なら、
そっとしておくこと、知

らぬふりをしてお
くことを勧めるだ
ろう。

女装を異常と思
うのは早計な判断
だ。単に女性の衣
服を身に着きたい
だけの人もいれば、
下着だけ女性用の
ものを愛用する人、
その姿で外出した
人、女装サロン

のような場所で披露した
人、実に様々である。
中には異性ではなく同性
が好き、という人もいる
が、それは女装とは関係
がない。彼らはただ自己
満足として、女装が好き
なのである。その逆パタ
ーンである、女性が男性
の恰好をする人もいるが、

こちらは男性の半分以下
の数にとどまる。

最近は、正常と異常の
線引きが難しい時代にな
った。発達障害と俗にい
うが、誰もが何等かの発
達障害であり、完璧な人
間など存在しない。デコ
ボコがあつて生きづらい
自分を何とかかんとかご
まかしつつ、人の顔色を
うかがい、社会の規範に
歩調を合わせて過ごして
いるのだ。色の乏しい男
性の衣服ではなく、フリ
ルやリボンに彩られた女
性用衣服のほうが断然可
愛い。そこに惹かれる男
性がいてもさほどの驚き
も嫌悪もない。

たかがコスプレ、され
どコスプレ。そのくらい
の思い切った気分転換を
しなければ、とても生き
てはいけなくらいこの
世はストレス社会である
さて、あなたは明日、
どんな恰好をしてみたい
ですか？

イラスト・伊藤栄章